

Integrated report 2023



想像力が、 創造力になる。

一本の小さな虫メガネから、
人類はさまざまなものを発見してきました。
気づかなかったことを見つけ、見えなかったものに目を凝らし、
光を集め、大きなエネルギーに変えてきました。
でもそれは、「人の力」でもあるのです。
小さな手がかりに興味や好奇心を抱き、
未来のあるべき姿を考え、想像を飛躍させ、
新たな価値を創造してきたのは、つねに「人の力」です。
トーン・アップもまた、社会を構成する一員として、
社員一人ひとりの「人の力」を大切にしながら、
企業の本質と意義を見つめ、
社会に貢献する価値の創造を目指します。
そして、私たちと想いをともにしてくれるパートナーとつながり、
それぞれの力を集め、大きなエネルギーに変えながら、
互いに成長・飛躍したいと考えています。
そんな、私たちのビジョンをご覧ください。

ぜひ、私たちと一緒に
歩き始めませんか？



CONTENTS

P1-2		プロローグ
P3-12		トップメッセージ
P13-16		価値創造プロセス
P17-30		思考と行動の基盤
P31-46		価値創造の基盤
P47-56		ビジネスモデル
P57-64		目標達成への課題と解決
P65-66		会社情報
P67-68		エピローグ

広告ビジネスで培った新たな価値創造力で SDGsの取り組みを推進します。

トーン・アップは、広告製版・グラフィック・画像・映像・展示会・ノベルティ・印刷など、広告やセールスプロモーションの幅広い領域において、時代とともにその役割を広げ、日本の広告ビジネスの一翼を担ってきました。創業から104年を迎えたいま、その歴史のなかで培った新たな価値を生み出す力で、私たちは次の挑戦を始めます。ご存知の通り、2015年にSDGs(持続可能な開発目標: Sustainable Development Goals)が国連で採択され

ました。SDGsは、今後人類が創るべき価値を示したものです。企業の価値は収益をあげるだけでなく、社会をより良く変えていくことに見出されます。私にとっても、改めて経営の本質と意義を認識した瞬間でした、SDGsこそが社会貢献であると。そこで、弊社が広告ビジネスで培った“価値を見出す力”と“価値を伝える力”を原動力に、SDGs活動で社会貢献を行います。

想像力と創造力の源泉である「人の力」が、 何よりも大切な組織の資本です。

トーン・アップが手掛ける各種事業や経営において、私たちが何よりも大切にすることが「想像力」と「創造力」です。いずれも人が生み出す力であり、私たちが目指す新たな価値の創造や目標の達成においても非常に

重要な役割を果たします。この「人の力」で、より大きな価値創造へと挑戦し、シナジーを起こし、SDGsをはじめとしたさまざまな課題に取り組めます。

挑戦する「人の力」とともに
成長し、次の飛躍へ。
その想いと決意を
この統合報告書に込めました。



株式会社トーン・アップ
代表取締役

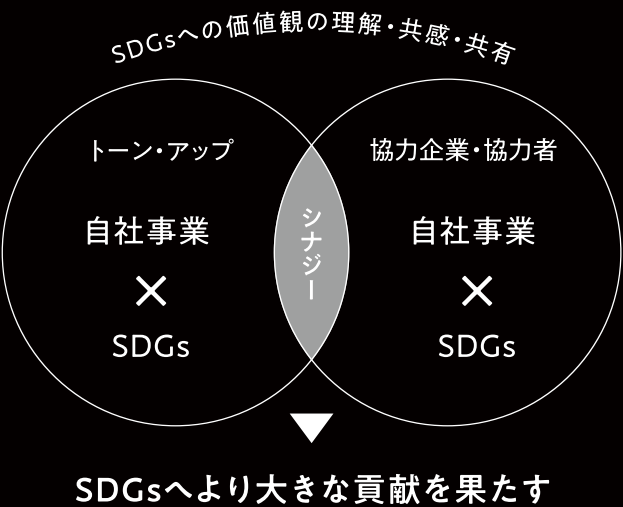
富田 和伸

ともに挑戦する人や企業様とつながり、
より大きな社会課題に挑みます。

SDGsは、2030年に向けた目標です。SDGsをテーマに、新たな価値の創造を目指す私たちも、2030年までに
あるべき姿をチャレンジ目標「V2030 (Vision
2030)」として、全ての社員と共有しています。ここに、
「Co-create Value with SDGs」というキーワードを
掲げました。つまり「SDGs活動と企業成長の共創」
です。企業は社会を構成する一員であり、さまざまな
「人の力」が融合する場所です。社会課題への取り組み
なくして、企業の存在価値はありません。私たちは、
2030年に向けてSDGs活動をはじめとした社会貢献
を果たしながら、企業としても成長し、飛躍すること
を目指します。そして、この取り組みを加速させ、より
大きな社会貢献を果たすために、私たちはSDGsに
対する価値観を共有できる人や企業様とパートナー
シップを結び、コラボレーションを積極的に推し進め

ます。それぞれの得意分野を活かしながら、ともに取り
組みを進めることができれば、SDGsにもより大きく貢献
できるはずです。一つの企業ではできないことも、パート
ナー同士が力を合わせれば可能になるかもしれません。
そのためには、トーン・アップという企業をより深く理解
していただく必要があります。そこで、この統合報告書を
作成しました。トーン・アップは非上場企業のため、必ず
しも統合報告書を作成する必要はありません。しかし、
SDGsに取り組む企業として、統合報告書にまとめる
ことが最も適していると判断しました。私たちが大切に
していること、私たちが目指していること、私たちができ
ること、私たちがまだできないこと。その全てをご覧いた
だき、一緒にビジョンを構築しながら目標に向かって
いただけるパートナーの皆様をお待ちしています。

「V2030」で目指すトーン・アップの
「あるべき組織の姿」



第二創業 始動

トーン・アップは
ESG経営で
新たなステージへ
飛躍します。



2023年、コンテンツ制作会社から、 ESG経営伴走企業へ。

トーン・アップは企業理念として

『Visualize Value 人が喜ぶ「もの・こと・とき」を創造し伝える』を掲げています。

この理念の実現とSDGs活動は、非常に深く関係しています。

また、チャレンジ目標「V2030」の達成を目指しながら、
企業としての利益や成長も追求しなくてはなりません。

これら全てを実現に導くのがESG経営です。

「人の力」を成長・飛躍させるシステムを導入し、

より大きな目標にチャレンジできる条件が整ったいま、

ESG経営に社員全員で取り組み、

経営の本質と意義を改めて問い直すとともに、

この機を「第二創業」と位置付け、

社会に新たな価値を創造するために邁進します。

ESG経営を導入することで、投資対象としての評価の向上や、

企業のブランド価値の向上、ESG経営に関連した新規取引の獲得など、

幅広いベネフィットが想定され、

さまざまな経営リスクの回避にも役立ちます。

このように、企業の持続的な成長のためにも、

ESG経営は重要な役割を果たします。

また、ESG経営伴走企業として、

ESG経営企業が必要としていることをご提案し、

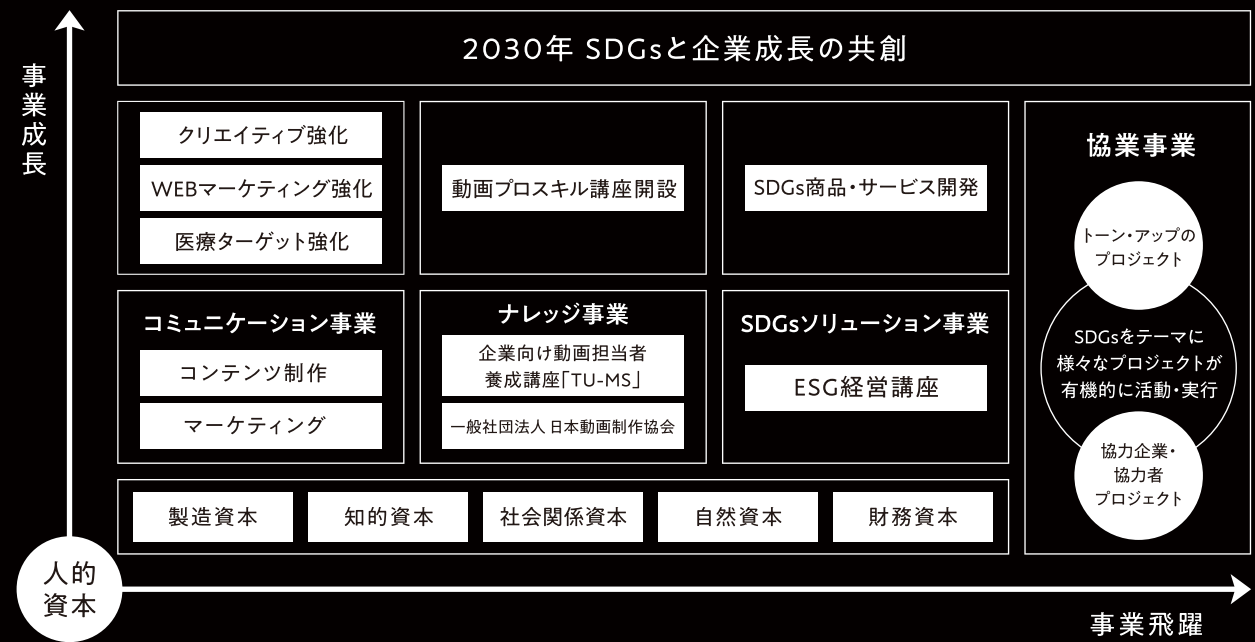
発展的なパートナーシップの構築や成長を目指します。

第二創業で人を育て、組織を創り変え、成長と飛躍の未来を目指します。

チャレンジ目標「V2030」の達成において、最も重要な「人の力」を最大限に引き出すために、トーン・アップは組織体そのものから見直します。その中心となるのが、2019年に導入を開始した、「人の力」を成長・飛躍させる独自のシステムである「トーン・アップ・ミッション・グレード・システム(TMG):役割等級制度」です。これは、一般的な役割等級制度の考え方を発展させて、目標を達成するための思考やプロセスまでを一続きでプランニングできるシステムです。課題に対する行動が起こりやすく

なり、目標達成を加速させるという独自のメリットを備えています。この目標の中にSDGsを取り入れることで、各自が目指すSDGs目標と、達成に必要な活動が整理され、社会貢献や成長を促しながら「V2030」の達成を目指すことが可能になります。さらに、人的資本が本質的に高まることで、他の経営資本も底上げし、事業のさらなる成長や、飛躍的な展開につなげます。このしくみを、トーン・アップの全ての企業活動の根幹に位置付けて、世界共通の大きな社会貢献を果たしたいと考えています。

人的資本の本質的な底上げで、事業の成長と飛躍を促します。



理想を思い描き、 現状を見つめることで、 目標達成への着実な 歩みを始めます。

トーン・アップはチャレンジ目標「V2030」として、SDGsへの具体的な貢献目標を掲げています。

ご覧のように、現状の取り組みを大きく上回る幅広い目標項目を設定し、社会に貢献したいと考えています。

今後の私たちの事業や活動の全てが、この目標に続きます。

トーン・アップの現状

4

質の高い教育を
みんなに

- 企業向け動画担当者養成講座「TU-MS」「ESG経営講座」など、ナレッジを活用
- 一般社団法人 日本動画制作協会を設立、動画制作検定の実施
- 統合報告書の作成サービスを開始
- ESG経営コンサルティング事業の強化
- 評価・教育コンサルティングの協業開発
- 動画に関するコンサルティングの強化

8

働きがいも
経済成長も

- 単純なオペレーション業務のRPA化による生産性向上と、人が行うべき創造的業務の向上
- 「トーン・アップ・ミッション・グレード・システム(TMG):役割等級制度」の導入により、会社目標と社員目標を融合させることで社員モチベーションを向上
- 全社員に対する、スーパーフレックス制度やリモートワーク導入による働き方改革の推進
- NSAC(新聞カラー広告の色見本基準)による新聞校正印刷の工数削減により、労働生産性が向上

12

つくる責任
つかう責任

- NSACによる紙やインキ、電力など、無駄な消費を軽減することで印刷ロスを解消
- マーケティングと運用管理のプロジェクトチーム構築、ノウハウ習得と専門家雇用、事業構築へ
- SDGs関連のビジネスモデル開発

「V2030」で目指すトーン・アップの「あるべき事業の姿」

3

すべての人に
健康と福祉を

3.a
3.d

医療関連の関係会社と協業し、健康維持や生活習慣向上に貢献するコミュニケーションツールなどを開発。事業として展開するとともに社内へのフィードバックも行い、健康経営宣言と合わせて、社員の福祉の充実のために積極的に役立てます。

4

質の高い教育を
みんなに

4.3
4.4

広告業界で培ったノウハウを活用し、高品質でわかりやすい多彩な講座を企画・提供。これらの講座で専門的かつ高度なスキルを身につけ、必要な技能を備えた若者や成人を社会に増やし続けることで、働きがいのある人間らしい仕事への雇用に貢献します。

5

ジェンダー平等を
実現しよう

5.5
5.b
5.c

ジェンダー差別のない社会の実現に貢献する効果的なキャンペーン、ノベルティ開発、広告や広報活動などのコミュニケーションを展開し、それらに関する効果測定を実施。差別の徹底的な排除を目指し、一人ひとりのパーソナリティが尊重され、誰もが働きやすい環境を整備します。

8

働きがいも
経済成長も

8.2
8.5
8.8
8.9

トーン・アップ・ミッション・グレード・システム(TMG):役割等級制度への理解を深め、これをもとにした人事コンサルティングを事業化。公平で、豊かな可能性を秘めた教育・評価・賃金制度を広めることで、働きがいの向上に貢献します。

9

産業と技術革新の
基盤をつくろう

9.1
9.4

地球時差を活用した24 時間オペレーション・リレーションシステムを構築。また、海外企業とパートナーシップを構築し、多様な文化や環境にふれながら、残業ゼロのウェルビーイングを実現します。同時に、世界中のオペレーション業務の受注を拡大することで短納期や単価アップを実現し、経済成長と産業・技術革新の基盤とします。

17

パートナーシップで
目標を達成しよう

17.13
17.14
17.16
17.17

適切な化学物質や廃棄物管理システムで構成された素材による商品開発、環境に配慮した広告や販促・PRを通じ、化学物質や廃棄物の大気・水・土壌への放出を戦略的に大幅削減。子供や孫世代までを見据えた環境対応で、人と地球の幸福に貢献します。また、広告業界で培ったノウハウを活かした統合報告書の作成サービスなど、開示情報にかかわるビジネスも展開し企業様のSDGs 対応を幅広く支援。人と地球の未来に向けた取り組みを促進する小さな起爆剤として、さらなる社会貢献につなげます。

12

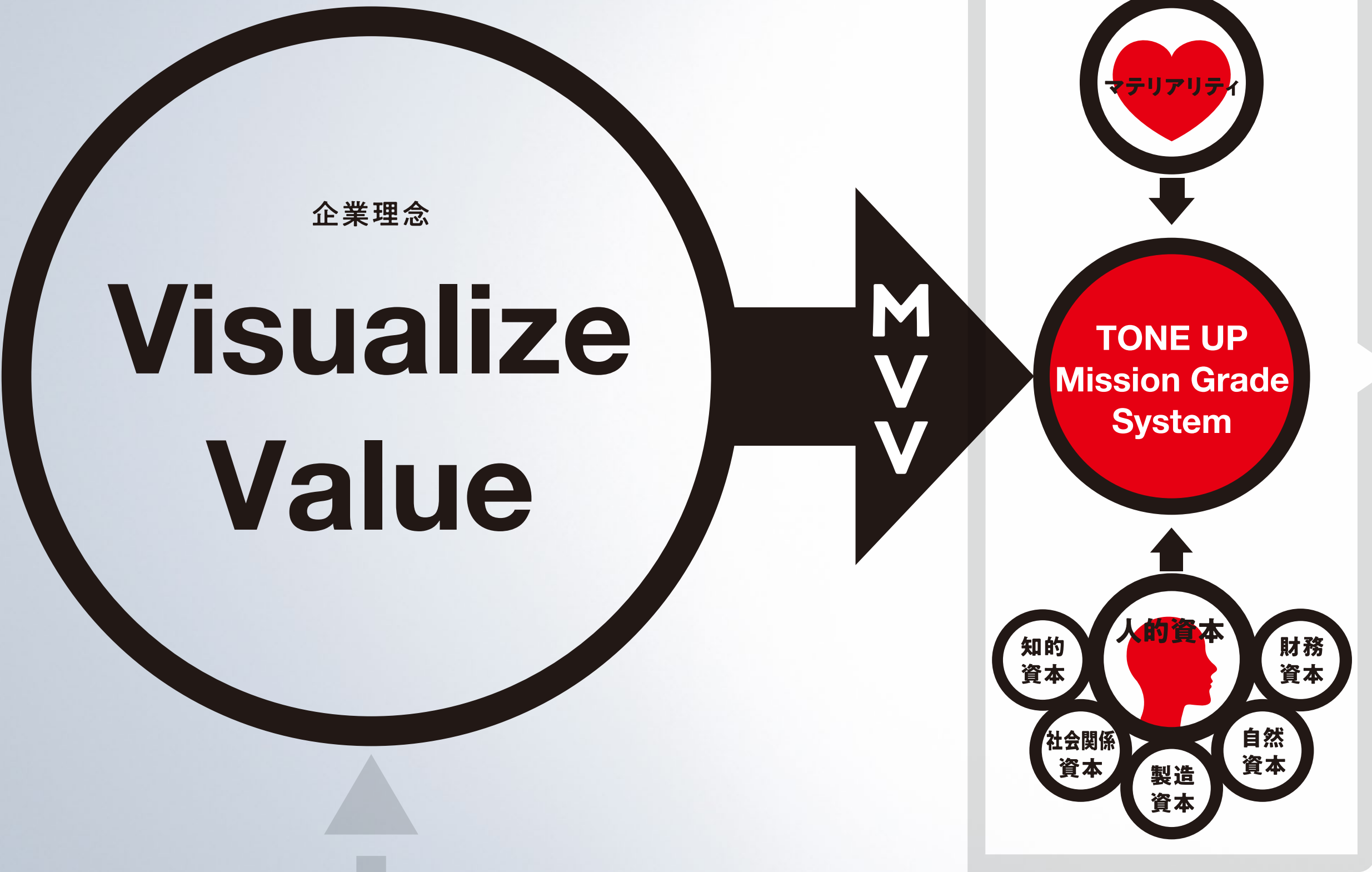
つくる責任
つかう責任

12.2
12.4
12.5
12.6
12.7
12.8

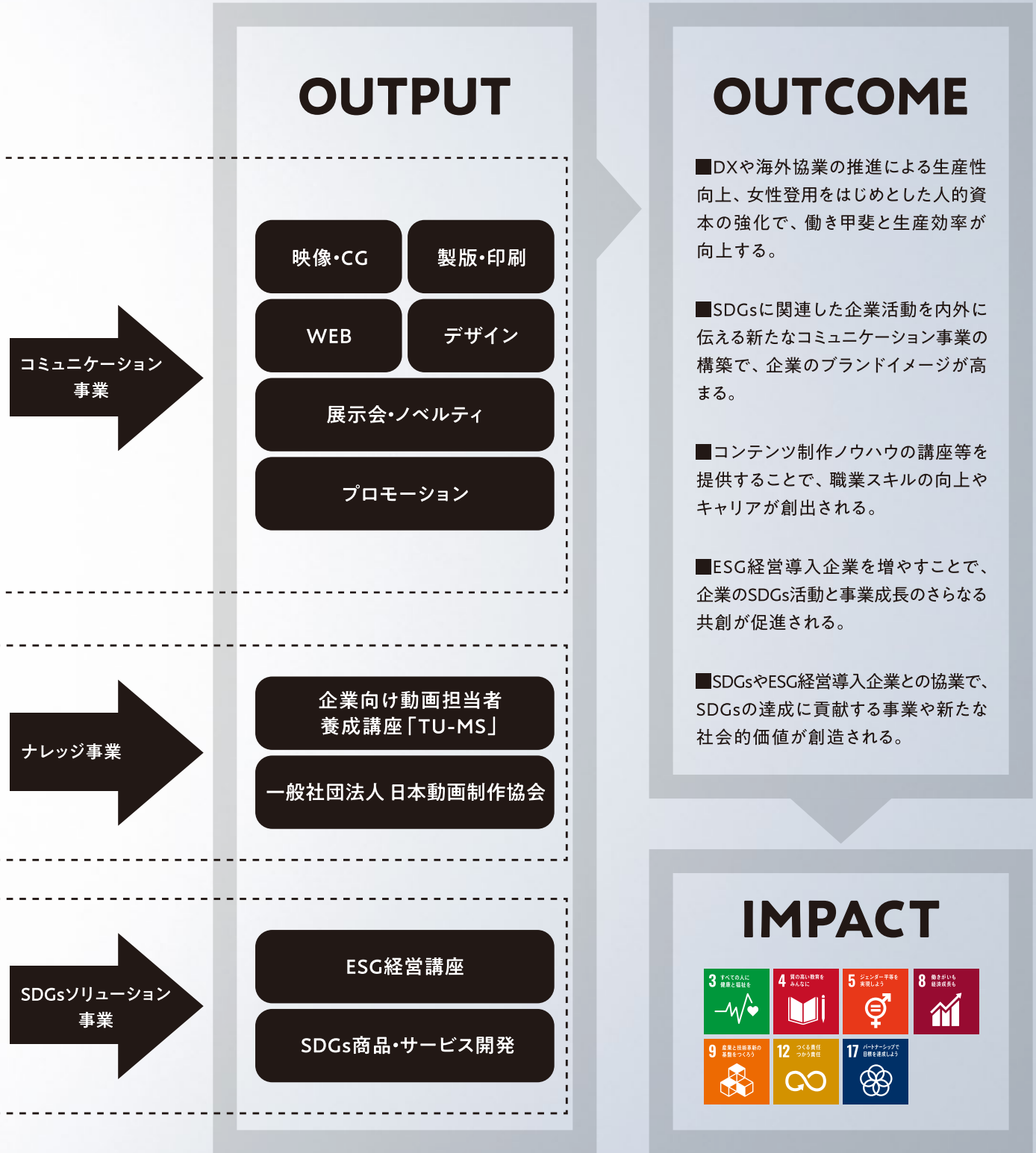
※NSAC:Nihon Shimbun Ad Color 日本新聞アドカラー

「理念」と「人の力」を両輪にビジネスを加速する、
トーン・アップの価値創造プロセス。

トーン・アップは、経営理念である『Visualize Value 人が喜ぶ「もの・こと・とき」を創造し伝える』の追求と、
「トーン・アップ・ミッション・グレード・システム(TMG):役割等級制度」を大きな駆動力にして、
ESG経営の実践と新たな価値創造を推進します。



「トーン・アップ・ミッション・グレード・システム
(TMG):役割等級制度」は、
企業理念に基づく
MVV (Mission・Vision・Value) のもとで、
バックキャスト思考により、
目指す目標の達成に向けて、
人的資本を中心とした6つの経営資本を
成長・飛躍させながらESG経営を推し進める、
価値創造プロセスの核心となるシステムです。



人的資本を中心にした6つの資本で、
持続可能な経営を推進します。



ESG経営の推進にあたっては6つの資本をもとに、価値創造
へのプロセスやビジネスモデルを展開します。現有のリソース
であるクリエイティブやプロダクトに加え、それらが内包する
さまざまな価値の変換や新たな提供先の開拓、先進テク
ノロジーの積極的な導入、パートナー企業との協業などで、
より高い生産性や品質を追求。日本はもとより世界の人々
にも役立ち、喜んでいただける「もの・こと・とき」を創造し、
発信していきます。

思考と行動の 基盤

トーン・アップは、SDGs活動、そしてESG経営を実践し、
未来へ向けた持続可能な経営に取り組みます。
その原動力となるのが、
企業としての存在意義を凝縮し、
社会へ向けて宣言する「企業理念」、
そして、「想像力」と「創造力」を生み出す「人の力」です。
この2つが両輪となり、価値創造プロセスを駆動させます。
ここに込められた私たちの想いをご紹介します。

「想像力」と「創造力」のバックボーン、
企業理念「Visualize Value」。

トーン・アップの価値創造プロセス、そのスピリットとして掲げているのが、企業理念である『Visualize Value 人が喜ぶ「もの・こと・とき」を創造し伝える』です。「Value=価値」とは、物欲から体験、さらにはかけがえない時間へと多様化してきた、人々に求められる価値観を表しています。また、「Visualize=視覚化する」とは目に見えるようにして伝えることです。つまり、「Visualize Value」という理念には、人々が求める顕在化した価値を伝えるだけでなく、まだ見えぬ潜在的な価値=人が喜ぶ「もの・こと・とき」も創造し伝えたいという想いを込めています。この理念を追求するために「想像力」と「創造力」を欠かすことはできません。



Visualize Value

共通の価値観に基づく行動を促すMVVの再構築。

本年を第二創業と捉える私たちは、企業理念として掲げている『Visualize Value 人が喜ぶ「もの・こと・とき」を創造し伝える』に込められた思考・行動をESG経営のもとでさらに推し進めるために、MVV（Mission:企業使命・Vision:目指す姿・Value:行動指針）を再構築し、経営の本質と意義をさらに整理しました。まず、「Mission:企業使命」として、SDGs活動を行うことを使命とし、「M:Visualize ESG Management ESG経営を創造し伝える」を掲げました。また、使命を果たし続ける上での「Vision:目指す姿」を、「V:Co-create value with SDGs SDGs活動と企業

成長の共創」としました。「企業成長」の言葉には、トーン・アップだけでなく、協業・共創する他の企業様の成長も含まれます。さらに、私たちの「Value:行動指針」として、「V:分析力・主体力・情報共有力・リーダーシップ・フォロワーシップを磨き潜在的価値をも顕在化させる」と掲げました。これにより、企業の成長と社会課題の解決を共創する「より大きな価値創造に挑戦を続け、成長し飛躍する地球人の集団」に向けて、社員一人ひとりが意識を高め、求められる行動への理解を促進し、全社一丸で新たな歩みを始めます。



トーン・アップのマテリアリティ（重要課題）

トーン・アップでは、さまざまな課題の解決に向けて、優先的に取り組むべき4つのマテリアリティを特定。「トーン・アップ・ミッション・グレード・システム(TMG):役割等級制度」によって経営資本や現有のリソースを成長・飛躍させながら、価値創造プロセスを駆動し、課題解決に向けて進みます。

想定されるリスクとチャンス

<リスク>

- 労働人口減少や労働時間削減、納期の短縮化、インフレなどに対処するため、生産性向上と働き方改革が急務に。
- グローバル経済が進むなか、地政学的問題や主義・思想の相違など、さまざまな国際的問題が増加。

<チャンス>

- 人口減少と高齢化社会、さらにミレニアル世代の台頭といった価値観の多様化によって、消費動向が変化している。
- 温暖化など、地球環境の急速な変化への対応が求められている。
- 世界的な貧富や経済格差の拡大がもたらす、教育・育成格差を改善する機運が高まっている。
- SDGsの認知は広がっているが、ESG経営の認知や導入はまだこれからという日本の現状。
- 社会課題を解決する、さまざまなイノベーションビジネスが待ち望まれている。
- 理念やバーパス、社会貢献など、コーポレートコミュニケーションの重要性が高まっている。
- 世界的にICTが進み、メタバースなどのバーチャル市場が拡大する一方で、フェイク情報への対処が求められている。
- マスメディアの衰退、スマートメディアの台頭など、コミュニケーションメディアの大変革が訪れている。

課題の優先順位決定

ウェルビーイングの実現

DXの推進、海外労働力や女性登用をはじめとした、さらなる人的資本の活用で、生産性を向上。社員の心身の健康と、会社や仕事への満足感や充足度を高める。

社会的なコミュニケーションの変化への対応

企業のコミュニケーション活動を最適化する、事業ドメインの戦略的な構築を実現する。

ESG経営導入企業の拡大

「ESG経営講座」&コンサルタント事業で、ESG経営導入企業の拡大に貢献する。

新たな社会的価値の創造

SDGsやESG経営を導入するさまざまな企業様と協業し、社会の要請に応える事業を創設する。

2030年のあるべき姿

事業との紐づけ

3

すべての人に健康と福祉を

4

質の高い教育をみんなに

5

ジェンダー平等を実現しよう

8

働きがいも経済成長も

9

産業と技術革新の基盤をつくろう

12

つくる責任 つかう責任

17

パートナーシップで目標を達成しよう

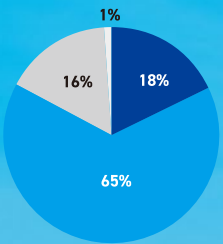
全ての取り組みにおいて、
社員一人ひとりの理解を大切にします。

ESG経営を推進するためには、何よりも社員の理解と創造的な協力が不可欠です。スピリットとしての企業理念の理解はもとより、ESG経営を念頭においた行動指針としてのMVV (Mission: 使命・Vision: 目指す姿・Value: 行動指針)、「トーン・アップ・ミッション・グレード・システム (TMG): 役割等級制度」、それら諸活動とSDGsとの関係性など、トーン・アップのビジョンや目標を一人ひとりが認識・共感したうえで、取り組みを進めることが

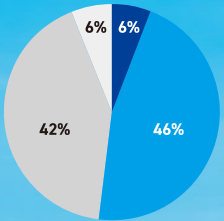
重要です。そこで、会社トップによる趣意説明、決算期ごとの方針発表、評価制度におけるMVVと連動した行動指針の導入、ESG経営講座や弊社統合報告書の共有、情報共有ツールの活用など、きめ細かな社内コミュニケーションを展開し、理解・浸透に努めています。このような取り組みによる従業員エンゲージメントの向上効果は、社内アンケートにも現れています。

トーン・アップFACT (2023年3月、社員100名に調査)

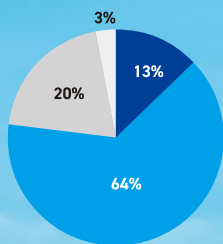
ESG経営導入により、
今の仕事が社会課題の
解決に少しでも
活かれば良いと思う



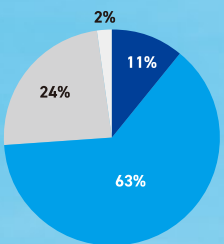
自社はESG経営導入の
変革により、
社会に貢献できると思う



まず個人の出来る
こととして、SDGs活動へ
目を向けたいと思う



ESG経営は難しいと思うが、
以前より関心は高まった



■ 全くその通りだと思う ■ その通りだと思う ■ どちらとも言えない ■ そう思わない





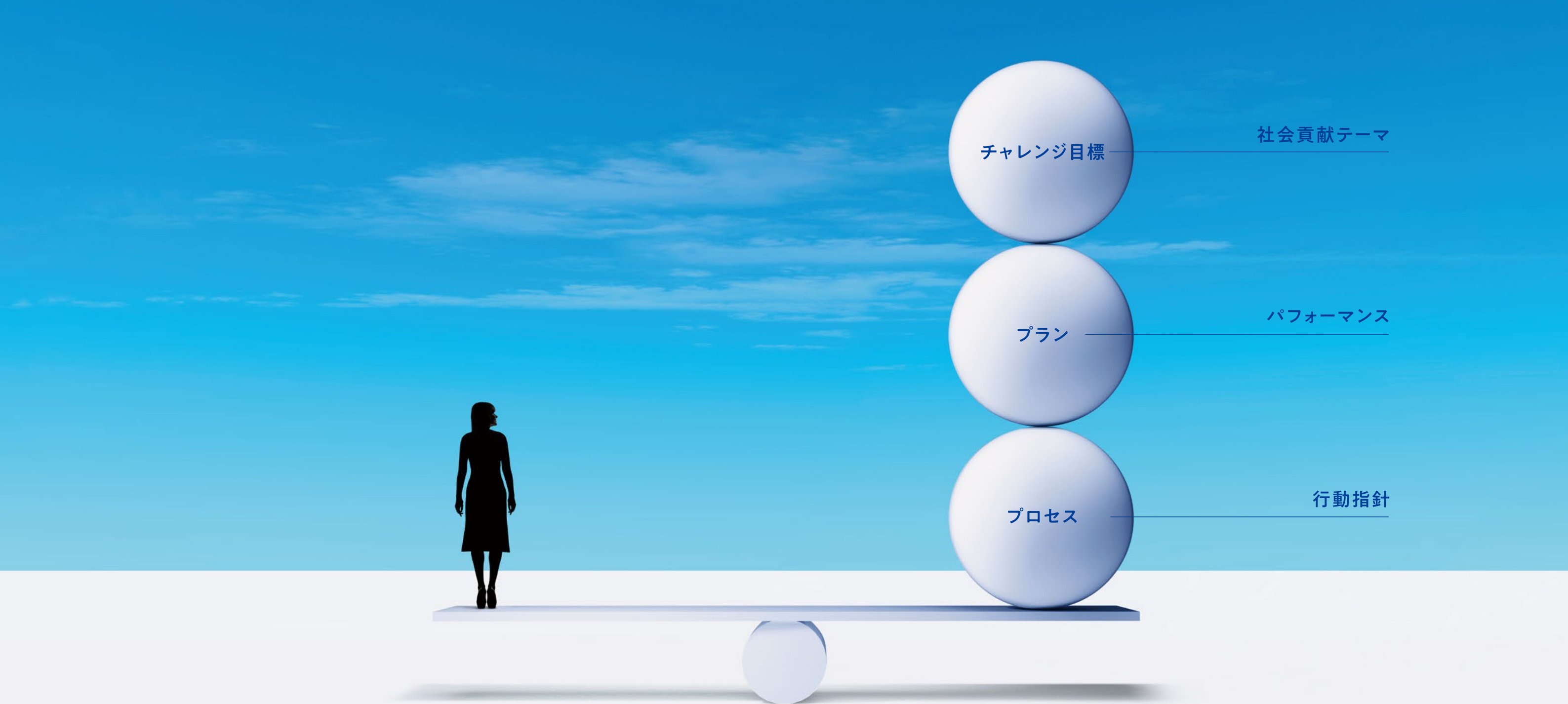
価値創造プロセスの中心に位置づけられる独自の役割等級制度、「トーン・アップ・ミッション・グレード・システム(TMG)」。

「トーン・アップ・ミッション・グレード・システム(TMG)：役割等級制度」は、私たちが最も重視する人的資本を高めるために、独自に開発した人事システムです。この制度は、企業として取り組む課題や目標を、社員の個人レベルの役割(ミッション)にブレイクダウンし、「企業として目指す役割の大きさ・範囲」と「社員が目指す役割の大きさ・範囲」を融合させたものです。

社員の役割と目標は「役割定義書」に定義されており、全ての社員が毎年度初頭に個人の目標を決め、達成を目指します。このように、大きな概念は一般的な役割等級制度と同様です。しかし、トーン・アップでは、目標を立てるだけでなく、それを達成するために必要な視点や思考をサジェストし、手法、手順までを一貫してプランニングできるシステムに発展させました。これにより、

目標を設定したら、その達成に必要な行動を誰でもすぐに実行することが可能になりました。これは、本システムならではの大きな特徴です。より具体的には、トーン・アップでは、各自が「チャレンジ目標」と呼ばれる難度の高い目標を立てますが、その際に、目標と現状のギャップを検証し、目標達成に向けた優先的かつ効果的な課題を設定します。そして、この課題を解決する

実行計画を考えます。そこには、業務改革的な視点と、人材や組織の活用に視点を置くことが示唆されます。また、自分自身の専門性やスキルアップについても検討し、目標に組み込みます。このように、本システムに沿って目標についてのプランニングを行うことで、達成への道筋が明確になり、業務への反映も容易化し、目標達成や各自の成長・飛躍を後押しします。

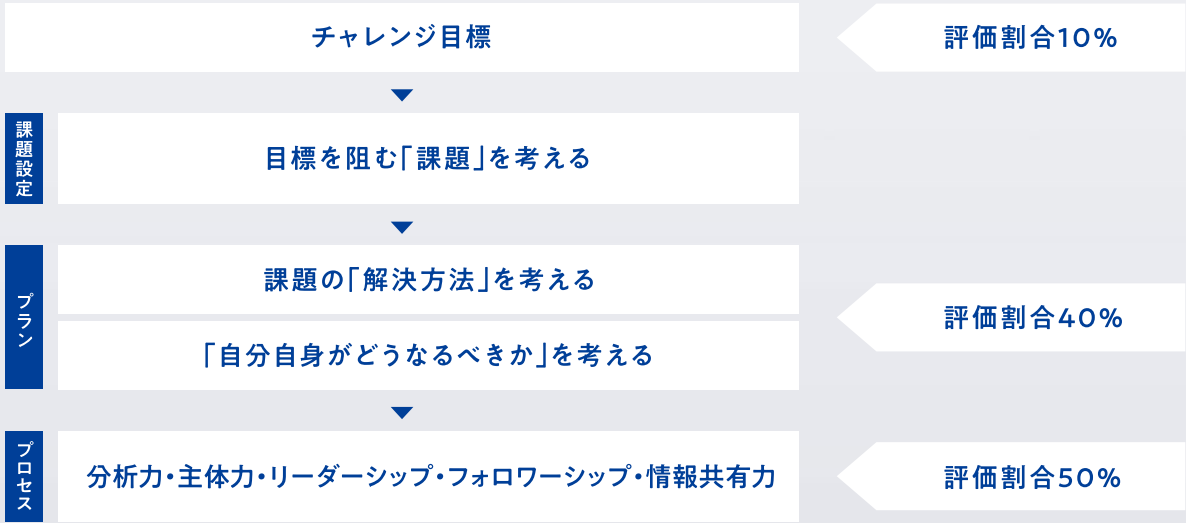


行動に対する評価をより重視し、
目標達成への思考や取り組みの継続性を高めます。

「トーン・アップ・ミッション・グレード・システム(TMG)：役割等級制度」で策定した目標や行動は、半年ごとに評価を受けます。評価の基準は、目標の達成度(成果評価)ではありません。むしろ、目標達成のためにとられたプロセスやプランがより重視されます。その理由は、達成度だけを評価した場合、例えばお客様都合による受注獲得といった目標達成への行動・プロセスが伴わない成果が発生すると、継続性や再現性が

生まれないためです。しかし、プロセスやプランを重視することで、たとえ目標を達成できなくても、次の目標達成に役立つ経験値が残るため、それを適正に評価すれば次の成果につながります。このように、普段の業務から目標を意識した思考と行動を喚起し、定着させることで、より大きな目標を目指せるようになることも、本システムの大きなメリットです。

[TMGの目標達成プロセスと評価]





価値創造の 基盤

トーン・アップはESG経営を本格的に導入し、
社会が直面するさまざまな課題の解決を目指します。
この事業の推進において最も重要な人的資本を中心に、
経営に必要な6つの資本を整理・管理・評価し、
必要な取り組みを行います。

人的資本

「人の力」こそ、想像力と創造力の源泉です。新たな価値を創造するうえで、人的資本がもたらす人の能力、知識、経験を欠かすことはできません。トーン・アップの100年間の成長においても、「人の力」が果たした役割は非常に大きなものでした。現在も継続的に人的資本の強化に努め、スキルアップやより良い労務環境への取り組みを進めています。



人的資本の概要

- 従業員数 132 人
- 仕事満足度が高い：社内調査70%
- 映像・CG、WEB、デザイン、製版・印刷、展示会・ノベルティ、プロモーション
といった各分野のプロフェッショナルが集結し、協業する中で蓄積される共有
資産としてのノウハウとスキル。

――従業員の公正な評価・待遇の整備――

- 「トーン・アップ・ミッション・グレード・システム (TMG): 役割等級制度」の導入

2019 年より導入を開始。従業員のモチベーションやスキルアップ等を推進します。

- 「トーン・アップ賞」の選定

年に一度、顕著な業績や会社組織への貢献を残した個人・グループを顕彰し、賞金を授与することで、社員のモチベーションを高め、スキルアップへのきっかけとする制度です。

――教育・人材育成プログラム――

- 職域別のノウハウ共有・人材育成研修会・勉強会の実施 (随時)

レポートや資料の蓄積・共有方法を仕組み化し、実際の業務の場でOJTによって技術継承を実施します。

- 「トーン・アップ・クリエイティブクラブ」の開催 (年10 回)

アートディレクターやグラフィックデザイナー等のクリエイターを対象に、経験豊富で高いスキルを持つスタッフが講師となり、技術やノウハウを伝えます。

- 企業向け動画担当者養成講座「TU-MS」、「ESG 経営講座」社内向け研修の実施
弊社が提供するスクール事業を社内スタッフも動画により受講できる制度。知見を広げ、業務への応用を促進します。

――人権の尊重や多様性の推進――

- 女性躍進のための「株式会社トーン・アップ計画」

性別を問わない働き方や生産性向上のための指針をまとめ、推進しています。

- SDGsに取り組むさまざまなプロジェクトの育成

――ウェルビーイング (人的資本への投資)――

- クリエイティビティ向上

月ごとに、社内外のクリエイターによる研修会を開催。また国内外のクリエイティブ賞への応募も推奨してます。



Tone Up Creative Club



人的資本に関する対応

トーン・アップの人的資本に関する

開示は以下の通りです。

青字:導入済 赤字:2023年導入予定・導入検討案件

01 リーダーシップ

価値向上	・Value研修 ・チームやプロジェクトへ、主体的メンバーに選出する人事制度
リスク管理	・年2回のTMGの評価面談
独自性	・TMGの行動評価項目であるリーダーシップを年2回、評価点数で昇給・昇格する
比較可能性	・年に一度のValue賞で賞金と賞賛 ・研修時間と回数 ・プロジェクトを含むリーダーの人数/全社員の24%

02 育成

価値向上	・Value研修 その他 ・マーケティング、ESG経営、SDGs
リスク管理	・年2回のTMGのValue評価面談
独自性	・年1回のハラスメント研修 ・ISO品質・情報管理の監査と研修 ・TMGのValue項目を年2回、等級昇格や昇給
比較可能性	・年に一度のValue賞で賞金と賞賛 ・Value研修の脳科学研修 ・SDGs導入会社など社外見学 ・研修の回数 ・SDGsの導入項目数

03 スキル／経験

価値向上	・Expert研修 ・クリエイティブ研修 ・TU-MS動画制作研修 ・JOB情報共有会 ・日本動画制作協会の動画検定 ・従業員のキャリアプランや希望部署のヒアリング実施
リスク管理	・年2回TMGによるスキル・実績の評価による指導、及び適正等級や業務責務を判断
独自性	・TMGの成果項目を年2回TMG評価により点数化、及び等級昇格や昇給
比較可能性	・年に一度のトーン・アップ賞で賞金と賞賛 ・研修の回数 ・その他検定試験

04 エンゲージメント

価値向上	・レクリエーション制度 ・社内の飲み会 ・Toog((社員情報サイト)) ・カフェスペースなど、従業員同士のコミュニケーションの場を設置
リスク管理	・全社方針・総括の発表 ・年2回TMGによるスキル・実績の評価による指導、及び適正等級や業務責務を判断
独自性	・TMGの成果項目を年2回TMG評価により点数化、及び等級昇格や昇給
比較可能性	・年に一度のトーン・アップ賞で賞金と賞賛 ・研修の回数 ・その他検定試験

05 採用

価値向上	・社員からの紹介制度 ・2年毎に採用条件(給与・副業、福利厚生等)の向上
リスク管理	・統合報告書など企業情報の公開
独自性	・Value適性診断 ・隔年ごとに新卒2名採用 ・海外勤務制度
比較可能性	・応募者と採用人数

06 維持

価値向上	・多彩な働き方改革 ・チャレンジ機会の向上 ・TMGによる個人目標の支援
リスク管理	・年に一度のサーベイ従業員の満足度調査 ・労働環境条件(在宅・オフィス・時間・役割、期間契約など)の柔軟性
独自性	・労働時間超過の定期的な管理 ・日本、EU、北米の時差を活用した24時間リレーシステムによる残業0労働
比較可能性	・離職率の比較

07 サクセッション(後継者育成計画)

価値向上	・引継ぎマニュアルの作成 ・事業部制、子会社化など経営者のOJT
リスク管理	・TMGによる人財開発
独自性	・プロジェクト事業による育成制度
比較可能性	

08 ダイバーシティ

価値向上	・65歳までの雇用 ・障害者雇用率の目標値 ・ダイバーシティ研修 ・女性管理職を20%
リスク管理	・ダイバーシティの窓口、委員会設置 ・内部通報・告発者の権利保護に関する規定制定
独自性	・ダイバーシティ推進の方針 ・多様な人材登用部署(プロジェクト)
比較可能性	・障害者雇用率 ・女性管理職比率

09 非差別

価値向上	・年1回のハラスメント研修
リスク管理	・ハラスメント相談窓口、及び質問会の設置 ・内部通報・告発者の権利保護に関する規定制定
独自性	・サーベイ調査
比較可能性	

10 育児休暇

価値向上	・男女育児休暇推進の研修 ・育児休暇期間の雇用及び福利厚生
リスク管理	・育児休暇期間の公表 ・育児休暇相談窓口の設置
独自性	・男女の育児休業取得者の人数
比較可能性	

11 精神的健康

価値向上	・代休・有給休暇の取得推奨 ・夏休み期間(6月～9月末)の設置 ・労働時間超過の定期的な管理
リスク管理	・残業時間削減の研修 ・健康経営宣言 ・希望者による月1度の産業医面談
独自性	・労務管理表による残業時間の管理徹底 ・ティール組織運営(セルフマネジメント・ホールディング・S-MVV共有)
比較可能性	・メンタルヘルス休職者数

12 身体的健康

価値向上	・代休・有給休暇の取得推奨 ・夏休み期間(6月～9月末)の設置 ・労働時間超過の定期的な管理
リスク管理	・残業時間削減の研修 ・健康経営宣言 ・労働環境条件(在宅・オフィス・時間・役割、期間契約など)の柔軟性
独自性	・ティール組織運営(セルフマネジメント・ホールディング・S-MVV共有) ・従業員の運動機会を創出するセミナー実施
比較可能性	

13 安全

価値向上	・全メンバー向け防災グッズの設置 ・安全確認マニュアル作成(ISO) ・災害時の安否確認システム ・安全確認(ISO)による監査
リスク管理	
独自性	
比較可能性	・労働災害発生率

14 労働慣行

価値向上	・出社・在宅、スーパーフレックス
リスク管理	・TMGによる、行動・成果の管理
独自性	
比較可能性	

15 児童労働／強制労働

価値向上	
リスク管理	
独自性	
比較可能性	

16 賃金の公正性

価値向上	・TMGによる役割別の給与の公開
リスク管理	・全執行役員による評価バランスチェック ・サーベイ調査
独自性	・事業部別・セクション別・等級別の比較検討を3回以上実施し決定
比較可能性	・TMGのValue項目を年2回、等級昇格や昇給 ・年に一度のValue賞で賞金と賞賛 ・Value研修の脳科学研修 ・SDGs導入会社など社外見学

17 福利厚生

価値向上	・レクリエーション制度 ・SDGs研修 ・各種手当や補助の充実
リスク管理	・レポートによる活動報告と成果発表会開催
独自性	・2セクション以上で5名以上の集団でのレクリエーション申請
比較可能性	・福利厚生アンケート調査の実施

18 組合との関係

価値向上	現在、弊社に労働組合は存在しません。
リスク管理	
独自性	
比較可能性	

19 コンプライアンス／倫理

価値向上	・全メンバー向け決算報告 ・ISO情報・品質管理の運営 ・発生した労働問題の開示 ・人権尊重等の取り組み ・年間総労働時間・残業の開示
リスク管理	・有給休暇取得率の開示 ・株主総会・役員会の運営 ・ISO情報・品質管理の監査 ・内部通報・告発窓口(社内・社外)設置及び監査委員会設置 ・内部通報・告発件数の開示
独自性	
比較可能性	

※TMG:トーン・アップ・ミッション・グレード・システム(TMG):役割等級制度 TU-MS:企業向け動画担当者養成講座「TU-MS」

社会関係資本

社会との信頼を醸成し社会的な価値の創造にも貢献する外へ開かれたつながりを、トーン・アップは大切にしています。社会との関係性から生まれる人々の結びつきや幸せはトーン・アップの企業としての幸せでもあり、価値創造の核心とも深く結びついています。

社会関係資本の概要

- 取引先 1000 社超
- 協業先 1003社
- 1000 社を超える取引先との関係維持・拡大、協業者(社)との共創関係。
講座受講会社との長期的な関係構築。動画制作協会の運営。

――ナレッジ事業・SDGsソリューション事業による社会課題の解決――

●「ESG経営講座」、企業向け動画担当者養成講座「TU-MS」による学びの場の提供
ESG経営や、ESG経営の対外アピールにも有効な企業向け動画担当者養成講座を提供することで、社会的課題の解決に貢献します。

●企業向け動画担当者養成講座「TU-MS」卒業企業オフ会実施
参加企業様にさらなる知見の獲得や、つながりの場を提供します。

――企業としての信頼とつながり――

●取引先からの信頼がもたらすパートナーとしてのゆるぎないポジション
創業100年を超えて培われてきた、長期の取引実績を有する多数の企業様の存在が、トーン・アップのブランド醸成に大きく関係しています。

――学校・研究機関とのつながり――

●インターンシップの受け入れ
2022年、相模女子大学生生活デザイン学科より3名の学生を受け入れ、広告制作や印刷技術についての学びと体験の場を提供しました。

――社会還元――

●営業利益の10%を社会に還元
トーン・アップは利益の社会還元に取り組んでいます。その一環として、2022年に特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパンを通じて、営業利益の10%を難民・国内避難民となった子どもたちの教育支援に役立てていただきました。

――各種団体・協会加盟――

●一般社団法人 日本動画制作協会設立
団体・個人へ動画の活用や制作の知識や技能の向上を支援し、動画産業の振興と発展に貢献する団体を設立。幹事会社として活動しています。

●日本新聞広告製版会 ●公益社団法人ACジャパン

●一般財団法人 関西観光本部 賛助会員

●特定非営利活動法人 関西を元気にする会 正会員 ●大阪商工会議所 会員

●公益社団法人 大阪広告協会 会員

●地方創生SDGs官民連携プラットフォーム・関西SDGsプラットフォーム会員

●公益社団法人 日本広告写真家協会(APA)

製造資本



コミュニケーション業界の100年企業として、広告製版・グラフィック・画像・映像・展示会・ノベルティ・印刷まで、幅広く対応。広告やセールスプロモーション、クリエイティブからプロダクツまでさまざまなご要望にワンストップでお応えできることが、トーン・アップならではのアウトプットの核心です。

製造資本の概要

■設備投資33千万円

■東京本社、大阪本店、新虎スーパーラボの3拠点体制

―――広告製版・印刷・大判出力―――

●紙媒体に出稿する広告の製版・印刷に創業当初からの実績と成果

紙と印刷の特性を計算し、商品の特長を最大限にアピールする、弊社ならではの技術力を有しています。

―――プランニング&グラフィックデザイン―――

●課題に応えるユニークなアイデアと技術で、機能するデザインを制作します。

―――映像―――

●映像コミュニケーションにかかわるVP、WEB広告、サイネージ広告など、企画からシナリオ、撮影、編集まで、トータルに制作します。

―――レタッチ・3DCG―――

●イメージを具現化するレタッチ、仮想空間を生み出す3DCGにおいて、ビジュアルをより多彩に、華やかにする、高い表現力を提供します。

―――展示会・イベント―――

●「美しさとおさまり」をコンセプトに、ニーズに合わせた空間プランニングを、企画、施工、運営までトータルでコーディネートします。

―――ノベルティ―――

●いつも人と時代に最適なアイデアで、キャンペーンや展示会などで喜ばれるモノ、伝えたいコトを具現化します。

―――WEB制作・広告運用―――

●WEBにかかわるすべてにオールマイティに対応し、すぐれたシステムとデザインでコンバージョンを高めるパートナーとして機能します。

―――拠点間連携―――

●東京本社・大阪本店の2拠点による業務進行の実施や、データ保全を行います。

●同業会社2社と災害時や緊急事態などの協業規定BCP契約を締結しています。

―――緊急対応―――

●緊急時の人員配置と体制をマニュアル化し、対応力を強化しています。

知的資本

トーン・アップが提供する技術やサービスのなかには、商標登録によってブランドを保護しているものがあります。商標登録された技術やサービスの存在は、企業の価値創造力を象徴し、企業イメージの向上にも大きく寄与します。新たなビジネスや競合力の創出にも関係するため、重要性の高い資本項目として、適切に活用・保護しています。

知的資本の概要

- 登録商標：3件
- 講座運営実績：2講座
- 講座運営によるノウハウ提供メソッド、
コンテンツ制作や各種経営資本創出のためのインフラ・体制
- 国際基準に対応した社内業務フロー
- 事業免許・許可等

――知的財産――

- 粗利益を上げるロジックツリーを構築

長年の営業活動で培ったビジネス手法です。

- 「REAL新聞広告」（登録商標）

新聞カラー広告の校正・送稿ゲラ印刷において、NSACに準拠した最も高品質で迅速に安定供給ができるテクノロジーシステムに「REAL新聞広告」の商標を登録しています。

- 通販サイト「アトリエマルシェ」（登録商標）

オリジナリティの高いファブリックパネル通販サイト「Atelier Marché（アトリエマルシェ）」の商標を登録しています。

- 「TU-MS」（商標登録）

企業向け動画担当者養成講座「TU-MS」の商標を登録しています。

――講座運営によるノウハウ提供メソッド――

- 「ESG経営講座」、企業向け動画担当者養成講座「TU-MS」の提供

講座の事業を通じた、ESG経営や動画に関する知識、経験、導入ノウハウの蓄積があります。

- 企業向け動画担当者養成講座「TU-MS」卒業企業オフ会実施

参加企業様にさらなる知見の獲得や、つながりの場を提供します。

――国際基準に準拠した社内業務フロー――

- 情報管理に関する業務フローの整備

情報管理について、ISO27001に準拠した業務フローを整備しています。

――事業免許・許可等――

- 一般建設業許可
- JAPAN COLORプルーフ運用認証
- デジタルクリエイティブパートナーズ認証
- 東京屋外広告業登録



自然資本

自然資本を適切に活用することは、全ての生命を保持する地球の基盤を固め、社会の持続可能性を高めることにもつながります。トーン・アップの事業においては、自然環境と関係が深い印刷や展示会を中心に、環境配慮を推進しています。また、コンテンツのデジタル化や、環境に配慮した素材・技術を使用したツールやノベルティの提案を積極的に行っています。



自然資本の概要

- 資源類の廃棄率の削減を推進
- CO₂排出率の削減を推進
- エネルギー使用量の削減を推進
- 環境に配慮したツールや資材の積極的な提案

―――製版・印刷における環境配慮―――

- 専門の回収業社による印刷用紙の廃棄・リサイクルのルールを策定し、社内システムとして運用しています。
- 新聞カラー広告の色見本基準の提供を通じて、印刷ロスの解消を推進しています。NSACやREAL新聞広告による新聞広告校正の高品位化により、プリント回数が削減され、資源保護に貢献しています。

―――展示会―――

- 各種コンテンツのデジタル化を推進しています。

―――エコ・サステナブルツールの提案―――

- 「エコ」「サステナブル」に貢献するノベルティ制作を推進し、その実績を提案資料として管理しています。
- リサイクル可能な紙素材のみでできており、製造工程において環境や人体に悪影響を及ぼす成分を使用していない環境配慮素材「Re-board」を活用。環境保全や森林保護に配慮しています。

―――省エネ・エコオフィスの推進―――

- オフィスの廃棄物削減・GHG（温室効果ガス）排出量削減を促進するための資源循環プラットフォームパッケージサービス「MaaR（マール）」を導入。プラスチックごみとして回収されたものが100%リサイクルされてオフィス用品などに生まれ変わります。



財務資本

財務資本は、企業の成長と経営の安定性を維持するための基本的かつ重要な要素です。また、財務の健全性や企業としての持続的な成長は、ステークホルダーの皆様への信頼にもつながると考えています。トーン・アップでは、健全な財務基盤の構築に努め、バランスの良い成長投資と利益還元の好循環の実現に努めています。



財務資本の概要

■非上場企業のため非公開





ビジネスモデル

トーン・アップのビジネスモデルは、
ESG経営やSDGsへの取り組みと、
社会や地球へより良い価値を
創造するための核心といえます。
また、幅広い事業領域と、それに伴う技術・品質は、
パートナーシップを結ぶ人や企業様にとっても
相互利用に資する価値を備えていると自負しています。

3つの 事業領域

トーン・アップは、今後のより大きな価値創造の実現に向けて、6つの資本を強化しながら2023年度より組織を改編し、「コミュニケーション事業」、「ナレτζ事業」、「SDGsソリューション事業」の3つのカテゴリーで事業を推進します。

【コミュニケーション事業】

「コミュニケーション事業」は、総合コンテンツ制作会社としての当社の専門領域であり、従来から高い評価をいただいています。コミュニケーションの重要性がますます高まるなか、長年培った製造資本であるクリエイティブとプロダクト、さらにはマーケティングを強化し、社会やお客様に貢献できる価値を創造します。

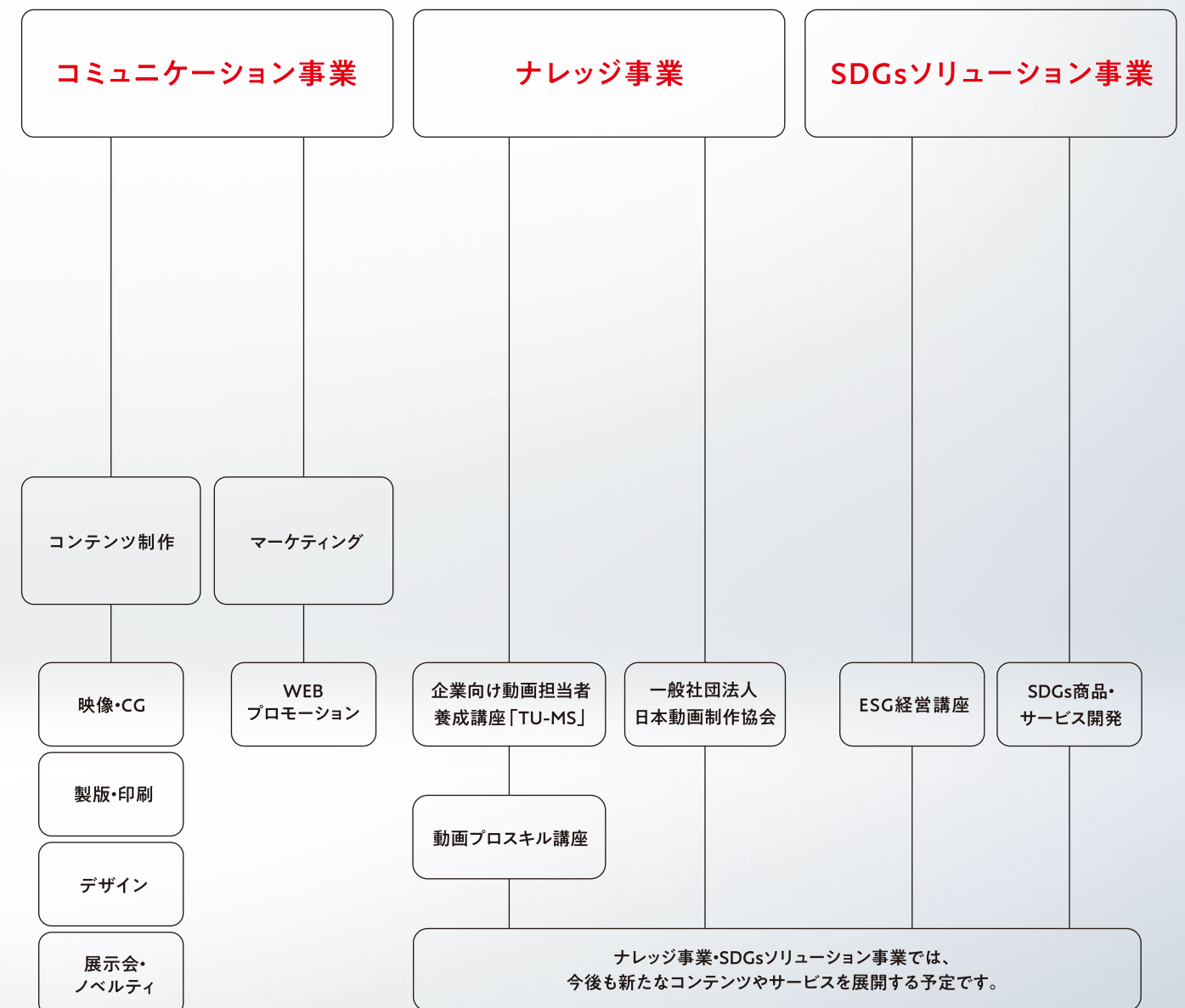
【ナレτζ事業】

「ナレτζ事業」では、「コミュニケーション事業」で培った知的資本を、新たな事業開発へ活用します。2022年1月からスタートした企業向け動画担当者養成講座「TU-MS」とコンサルタント事業もそのひとつです。

【SDGsソリューション事業】

「SDGsソリューション事業」は、ESG経営の導入企業様やSDGs活動を行っている方々とアライアンスを組み、トーン・アップの「コミュニケーション事業」と「ナレτζ事業」のあらゆる資本を投入し、SDGs達成に役立つ新たな事業や製品・サービスを開発します。本事業においては「ESG経営講座」とコンサルタント事業を2022年10月にスタートしました。

いずれの事業も、トーン・アップならではの想像力で新たなコンテンツやサービスを生み出し、社会、お客様、ステークホルダーの皆様にご貢献する価値の創造に取り組んでいきます。



コミュニケーション 事業

トーン・アップは創業以来、高品質な新聞広告製版を担う会社として、新聞・雑誌広告の発展に努めながら、進化し続ける広告業界において事業領域を拡大。グラフィック・映像・レタッチなどのクリエイティブから、ディスプレイ・広告製版・印刷・ノベルティなどのプロダクトを手がけています。豊富な経験と知識を持った各分野の専門スタッフが、コンテンツ領域を横断しながら社内リソースを活用し、お客様の課題解決に取り組みます。さらにマーケティングの強化を図ります。マスメディアからスマートメディアへコミュニケーションの主流が変化。また、マーケティング広告から理念・パーパスなどがより重要視されつつあるなか、社会と企業様のコミュニケーションの向上に貢献し続けます。

事業概要

デザイン

■**プランニング&グラフィック
デザイン制作**
マーケティング視点で販売戦略をプランニングし、課題解決のアクションへとつながる“機能するデザイン”を提供します。

映像／CG

■**映像制作 3DCG**
企画提案からシナリオ作成、撮影、編集まで全ての制作工程に対応します。また、高品質の3DCGは高い評価をいただいています。

■**レタッチ 3DCG**
レタッチ専門の社内ユニット「ONETONE」を擁し、多彩なビジュアル表現を提供します。数多くの受賞歴を誇ります。

製版／印刷

■**広告製版・印刷・大判出力**
紙と印刷の特性を見きわめ、商品特性を最大限にアピールする高品質なアウトプットを提供します。

WEB

■**WEB制作システム構築・
解析・広告運用**
システム設計からUIやUXを想定したデザイン、コピワーク、CRMにいたるまで、WEB制作の全般に対応します。

マーケティング

■**マーケティングに基づく
広告・コミュニケーションの
提供**
業界・市場動向等のデータに基づき、コンセプトや戦略・戦術を策定。幅広いメディアを網羅し、認知拡大、購買アクションにつなげます。

展示会／ノベルティ

■**展示会・イベントの企画
デザイン・設計施工・運営**
集客プロモーションの立案から企画、設計施工、サイン、ディスプレイ、動画の制作から運営までトータルに対応します。

■**ノベルティ企画制作**
目的、予算、納期に合わせて、最適なアイデアを提案します。また、環境保護に配慮したツールや資材も積極的にご提案します。

■**ペーパーボード
（ダンボール仕器）**
商品陳列用仕器、POP、家具などさまざまな用途に対応可能な紙素材をご提供します。

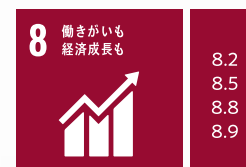
コミュニケーション事業が目指す「あるべき姿」



医療関連の関係会社と協業し、健康維持や生活習慣向上に貢献するコミュニケーションツールなどを開発。事業として展開するとともに社内へのフィードバックも行い、健康経営宣言と合わせて、社員の福祉の充実のために積極的に役立てます。



ジェンダー差別のない社会の実現に貢献する効果的なキャンペーン、ノベルティ開発、広告や広報活動などのコミュニケーションを展開し、それらに関する効果測定を実施。差別の徹底的な排除を目指し、一人ひとりのパーソナリティが尊重され、誰もが働きやすい環境を整備します。



地球時差を活用した24時間オペレーション・リレーションシステムを構築。また、海外企業とパートナーシップを構築し、多様な文化や環境にふれながら、残業ゼロのウェルビーイングを実現します。同時に、世界中のオペレーション業務の受注を拡大することで短納期や単価アップを実現し、経済成長と産業・技術革新の基盤とします。



適切な化学物質や廃棄物管理システムで構成された素材による商品開発、環境に配慮した広告や販促・PRを通じ、化学物質や廃棄物の大気・水・土壌への放出を戦略的に大幅削減。子供や孫世代までを見据えた環境対応で、人と地球の幸福に貢献します。また、広告業界で培ったノウハウを活かした統合報告書の作成サービスなど、開示情報にかかわるビジネスも展開し企業様のSDGs対応を幅広く支援。人と地球の未来に向けた取り組みを促進する小さな起爆剤として、さらなる社会貢献につなげます。

ナレッジ事業

知的資本の有効活用事業

トーン・アップがコミュニケーション事業で長年培ったノウハウやスキル等のナレッジを、新たな事業やターゲットに変換し、さらなる価値を創造する事業です。第一弾は、2022年1月からスタートした企業向け動画担当者養成講座「TU-MS」&コンサルタント事業です。需要が高まる動画コミュニケーションにおいて、映像・動画・3DCGの知的資本を活用し、いま必要とされるサービスに価値を変えて提供します。また、講座終了後に受講企業様にカスタマーサクセスサポートを行い、さらなるコンサルティングやコンテンツ制作に関するご提案も行います。さらに、一般社団法人日本動画制作協会も設立し、動画制作検定試験をスタートします。今後もさまざまな社会課題の解決を目指し、事業を開発する予定です。

事業概要

■企業向け動画担当者養成講座「TU-MS」

ESG経営の対外アピールにも利用できる動画について、企業向けに動画担当者を育成するためのオンライン養成講座です。

■一般社団法人 日本動画制作協会

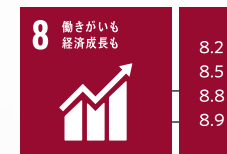
動画の活用や制作に携わり、またはそれらを志す団体・個人に対し、動画の活用や制作の知識や技能の向上を支援し、日本の動画産業の振興と発展に貢献することを目的として設立しました。

ナレッジ事業が目指す「あるべき姿」



4.3
4.4

広告業界で培ったノウハウを活用し、高品質でわかりやすい多彩な講座を企画・提供。これらの講座で専門的かつ高度なスキルを身につけ、必要な技能を備えた若者や成人を社会に増やし続けることで、働きがいのある人間らしい仕事への雇用に貢献します。



8.2
8.5
8.8
8.9

トーン・アップ・ミッション・グレード・システム(TMG):役割等級制度への理解を深め、これをもとにした人事コンサルティングを事業化。公平で、豊かな可能性を秘めた教育・評価・賃金制度を広めることで、働きがいの向上に貢献します。



9.1
9.4

地球時差を活用した24時間オペレーション・リレーションシステムを構築。また、海外企業とパートナーシップを構築し、多様な文化や環境にふれながら、残業ゼロのウェルビーイングを実現します。同時に、世界中のオペレーション業務の受注を拡大することで短納期や単価アップを実現し、経済成長と産業・技術革新の基盤とします。



17.13
17.14
17.16
17.17

SDGs ソリューション 事業

SDGsやESG経営を導入する方々や企業様とアライアンスを結び、SDGsに関するさまざまな商品やサービスを開発し、価値創造を行う事業です。また、このSDGs商品やサービス、活動などを広く伝えるコミュニケーションも重要な要素です。このコミュニケーション活動においてもトーン・アップが貢献します。事業の第一弾として、2022年10月に「ESG経営講座」&コンサルタント事業を設立。まずは、まだまだ認知が低いESG経営に対し、導入企業を増やす事業をスタートしました。今後はトーン・アップが掲げるSDGs目標の「3」「4」「5」「8」「9」「12」「17」などと共通または共感する企業様と、ステークホルダーの方々も巻き込み、さらなる事業や製品・サービスの開発を行います。

事業概要



企業経営に関わる経営者や幹部、次世代リーダーを対象に、ESG経営の実践に必要なカリキュラムを提供する、独自の講座です。

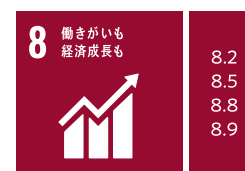
SDGsソリューション事業が目指す「あるべき姿」



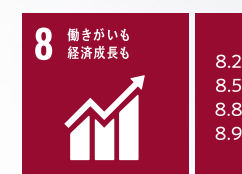
医療関連の関係会社と協業し、健康維持や生活習慣向上に貢献するコミュニケーションツールなどを開発。事業として展開するとともに社内へのフィードバックも行い、健康経営宣言と合わせて、社員の福祉の充実に、積極的に役立てます。



ジェンダー差別のない社会の実現に貢献する効果的なキャンペーン、ノベルティ開発、広告や広報活動などのコミュニケーションを展開し、それらに関する効果測定を実施。差別の徹底的な排除を目指し、一人ひとりのパーソナリティが尊重され、誰もが働きやすい環境を整備します。



トーン・アップ・ミッション・グレード・システム(TMG):役割等級制度への理解を深め、これをもとにした人事コンサルティングを事業化。公平で、豊かな可能性を秘めた教育・評価・賃金制度を広めることで、働きがいの向上に貢献します。



地球時差を活用した24時間オペレーション・リレーションシステムを構築。また、海外企業とパートナーシップを構築し、多様な文化や環境にふれながら、残業ゼロのウェルビーイングを実現します。同時に、世界中のオペレーション業務の受注を拡大することで短納期や単価アップを実現し、経済成長と産業・技術革新の基盤とします。



適切な化学物質や廃棄物管理システムで構成された素材による商品開発、環境に配慮した広告や販促・PRを通じ、化学物質や廃棄物の大気・水・土壌への放出を戦略的に大幅削減。子供や孫世代までを見据えた環境対応で、人と地球の幸福に貢献します。また、広告業界で培ったノウハウを活かした統合報告書の作成サービスなど、開示情報にかかわるビジネスも展開し企業様のSDGs対応を幅広く支援。人と地球の未来に向けた取り組みを促進する小さな起爆剤として、さらなる社会貢献につなげます。

ノウハウ提供

商品・サービス開発

コミュニケーション



目標達成への 課題と解決

2030年のSDGsの達成期限に向けて、
今後、全ての人と企業の成果が問われます。
チャレンジ目標「V2030」を掲げたトーン・アップもまた、
大きな成果を達成するための取り組みを進めます。
そのために、目標と現状を客観的に捉え、
課題を設定し、一つひとつを着実に克服します。
そのプランを明確に示し、事業戦略を推進し、
人と社会の幸せな未来に向けて
果たすべき役割を全うします。

現状と目標とのギャップを埋めるための8つの課題。

目標を達成するために何よりも大切なことは、現状と目標との間を隔てるさまざまなギャップを客観的に認識し、それを改善するために必要なことを「課題」として設定することです。

トーン・アップでは、ギャップと課題を社内的なテーマと社外的なテーマの2つに大きく分けて考えています。

社内的テーマとしては、主に社員のESG経営やSDGs活動のスキルに関する対策を重視しています。

また社外的テーマではSDGs達成のためのパートナーの構築が対策のカギになると考えています。



トーン・アップの現状と目標のギャップと、ギャップを埋めるための課題の認識

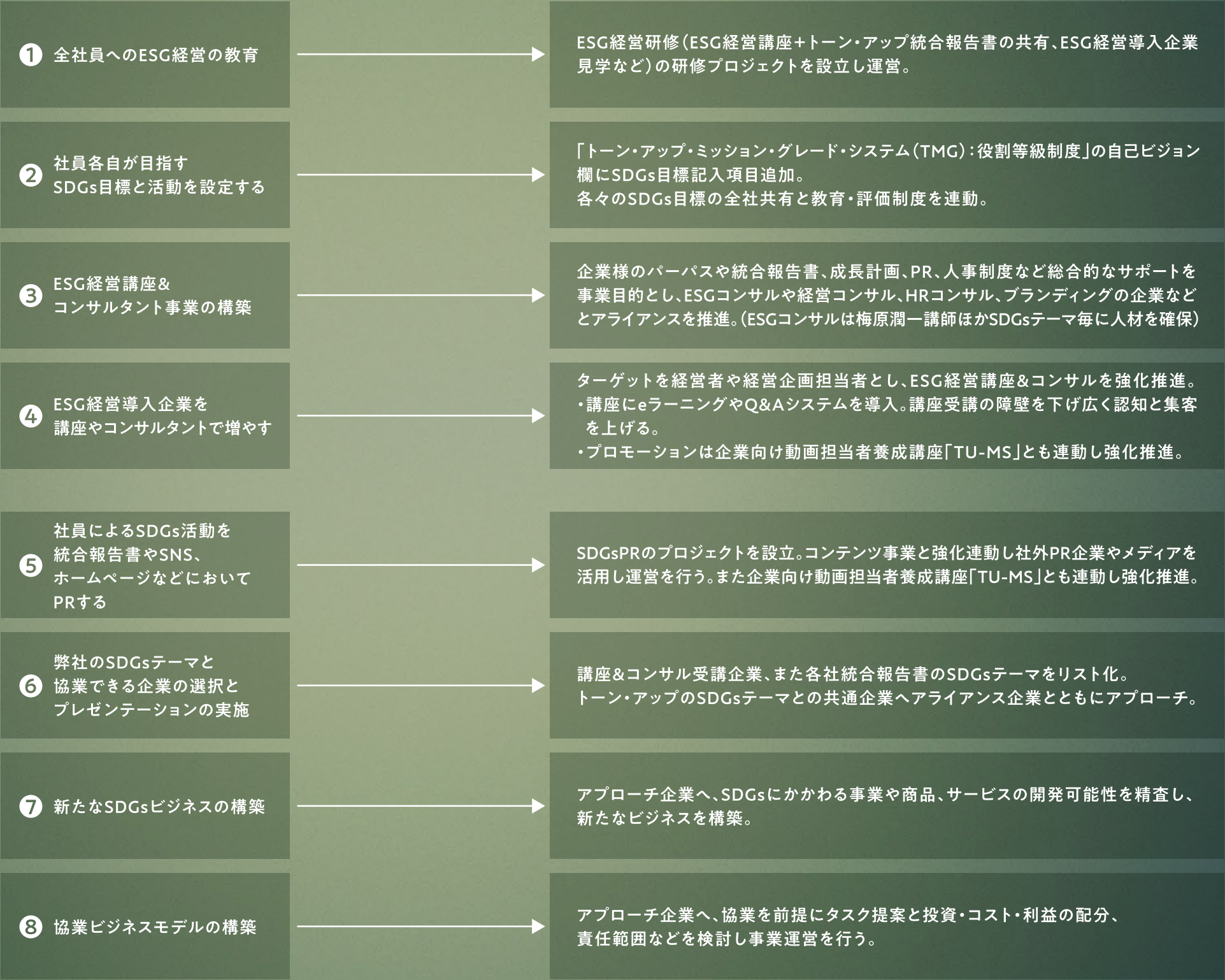


実行プランの策定で、課題解決に具体的な道筋を。

前頁で提示した、現状と目標のギャップを埋める8つの課題に対しては、さらに詳細な実行プランを策定しています。

現状認識、課題設定、解決プランの策定・実行を通して、

チャレンジ目標「V2030」の達成へと一歩一歩着実な歩みを進めていきます。



2023年より実施

CAPID評価を実施後、必要に応じて取り組みを継続

2024年より実施

2030年に向けた、成長と成果のマイルストーン。

SDGs、そしてESG 経営に取り組む全ての企業にとっても事業戦略上の大きな節目になる2030年。

トーン・アップにとっては、第二創業を経ての最初の一步です。ここでの成果を、次の成長の足掛かりにしなければなりません。

ここに、2030年に向けた事業・組織戦略をご紹介します。

チャレンジがなくては、成長はありません。成長がなくては、飛躍はありません。

飛躍がなくては、新たなステージには進めません。

この言葉を胸に、トーン・アップは、より大きな価値創造へと挑戦を続け、成長し、飛躍する集団に生まれ変わります。

そして、皆様とともに、新しい未来を創り出していきます。

成長を遂げながら、
持続的により多くの
価値創造ができる
ティール組織へ



※将来見通しに関するご注意:本資料に記載されている業績等の予測、計画、見通しといった将来に関する記述は、資料作成時点で当社が
実際はさまざまな要因の変化により、記載の内容とは大きく異なる場合があります。
※TU-MS:企業向け動画担当者養成講座「TU-MS」

入手している情報に基づき策定しているため、不確実性を含んでおり、その実現を約束するものではありません。

ボードメンバー



富田 和伸

代表取締役
一般社団法人 日本動画制作協会 理事長



井上 真規男

執行役員
兼TU-MS動画スクール 運営統括



目黒 功

執行役員
兼ESG経営講座 運営統括



石黒 義昭

執行役員



梅原 潤一

顧問
兼ESG経営講座 講師



西村 康朗

顧問
兼サステナブルコミュニケーション 講師
兼TU-MS動画スクール 講師

会社沿革

1919年	先々代富田厳により大阪市南区に富田製作所を創業
1961年	株式会社大阪製版所として法人化、先代富田進吉が代表取締役社長に就任
1963年	東京都中央区築地に広告製版会社、株式会社東京トーンを設立
1989年	株式会社大阪製版所と株式会社東京トーンが合併し、株式会社トーン・アップを設立
2000年	株式会社イメージ・ラボを設立、広告画像制作を強化
2007年	株式会社イメージ・アップを設立、サインージ制作、SPツール制作業務を強化
2011年	株式会社ポイント・セットを設立、プロモーション及びコンテンツ企画事業を強化
2019年	5月5日、創業100周年を迎える
2022年	企業向け動画担当者養成講座「TU-MS」・「ESG経営講座」を開講
2023年	価値創造のための新たなミッション・ビジョン・バリューを策定、第二の創業をスタート

会社概要

社 名	株式会社トーン・アップ
事 務 所	東京本社 東京都中央区銀座7-13-20 銀座THビル 2F 大阪本店 大阪府大阪市西区土佐堀1-3-7 肥後橋シミズビル 7F 新虎スーパーラボ 東京都港区新橋5-20-4 新虎サウスビル B1F
創 業	1919年(大正8年)5月5日
認 証	JIS Q 27001:2014 登録番号 JQA-IM1282 Japan Color プルーフ運用認証 デジタルセンドクリエイティブ パートナース認証 東京都屋外広告業登録 登録番号 都広 第3930号 労働者派遣事業許可書 27-302914
加盟団体	日本新聞広告製版会 公益社団法人 日本広告写真家協会(APA) 公益社団法人ACジャパン 一般社団法人 日本動画制作協会



できない？なぜ！

「想像力」と「創造力」があれば、できないことなど何もないはずです。

ありえない!と思うもの・こと・ときもVisualizeできると信じます。

2030年に向けた新たな挑戦は、きっと大きな困難を伴います。

でも、私たちは挑戦を続けます。

つねに大切なものを見つめて、あるべき未来の姿に向けて進みます。

そこに価値観を共有する仲間が多ければ多いほど、

目標への道のりは豊かになり、より大きな価値につながるはずです。

そんな仲間を私たちはいつも待っています。

ぜひ、声をかけてください。一緒に歩き始めましょう。

そして、SDGsの達成に向けて取り組むトーン・アップにご期待ください。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

株式会社トーン・アップでは、SDGs 活動やESG 経営に関わる、さまざまな形態のパートナーを募集しています。詳細をご希望の方は、株式会社トーン・アップ SDGsソリューション事業担当(info@esg-toneup.com)にお気軽にご連絡ください。